

津波から安全に避難するために

地震発生

1. 地震の揺れを感じたら津波に注意！

地震の揺れを感じたら、まず身を守り、火の始末をします。いったん身の安全が確保されたら津波に注意しましょう。

直後～10分後

2. テレビ・ラジオや市の広報で正しい情報を！

地震後はうわさやデマに惑わされず、テレビ・ラジオや市の広報で津波の警報、注意報などを入手し、正しい情報に基づいて行動しましょう。

10分後～

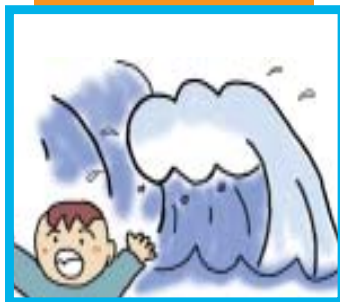
3. 避難情報が出たらすぐに避難！

市の防災行政無線や広報車などから避難の呼びかけ（避難勧告等）があった時は、直ちに避難しましょう。たとえ、避難情報が出る前でも早めの自主避難を心がけてください。

80分後

4. 避難は徒歩で！

避難は徒歩が原則です。車による避難は渋滞を引き起こし、一刻を争う津波からの避難にはかえって危険です。



5. お年寄りや体の不自由な方などの避難に協力！

お年寄りや体の不自由な方など、迅速な避難が困難な方々に声をかけ、ご近所で助け合って、地域全体での早期避難完了に努めましょう。

6. 地域での協力が大切！

避難の時にはご近所にも声をかけ合い、みんなでケガや病気の方などの手助けを行うなど、地域で協力し合う避難を心がけましょう。

7. 海辺や川べりには近づかない！

地震の際には、護岸や堤防が影響を受ける恐れがあり非常に危険です。海辺や川べりからは直ちに離れ、避難の時も決して近寄らないようにしましょう。

80分後～

8. 水が引いても勝手に戻らない！

津波は何度もやってきます。避難解除になるまで避難場所等に留まりましょう。

6時間以上



津波は地震が原因で発生します

～海底のプレートが跳ね上がっておきる「南海地震津波」～

西日本の太平洋沖の海底には「南海トラフ」という深い溝が存在しています。この南海トラフ周辺で発生する地震を「南海地震」といい、これまで100年から150年に1回の割合で大きな地震と津波が発生していることがわかっています。

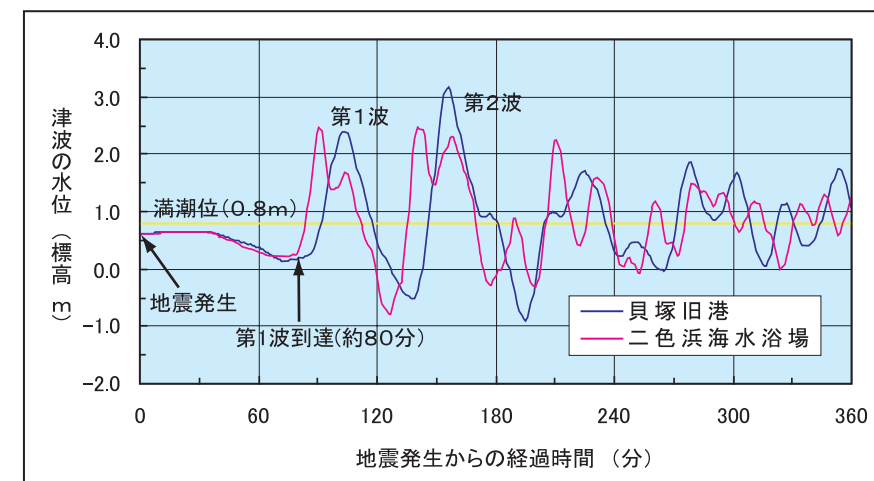
南海トラフでは、西日本をのせたユーラシアプレートの下に太平洋側のフィリピン海プレートが、年間数センチのスピードで沈み込んでいます。この時プレート境界にひずみが蓄積されていきます。このひずみが限界に達するとプレート境界部分が割れてはね上がり、南海地震と津波を発生させます。



貝塚市には地震発生後、約80分で津波が到達

貝塚市には、南海地震発生後約80分で津波の第1波が到達します。その後津波は何波も押し寄せてきます。

注）震源の位置や地震の規模によってはもっと早く津波がやってくる場合があります。避難勧告や避難指示が出た場合はすみやかに避難してください。



津波防災マップの使い方

南海地震は、これまで約100年～150年の周期で確実に発生しており、この地震が起こす津波は貝塚市の沿岸にも押し寄せると予想されています。津波災害から身を守るために、正しい災害の知識と心構えを身につけておくことが大切です。

このマップは、予想される浸水深さ範囲、避難場所、避難路、心得、問い合わせ先などをまとめたものです。予想される津波の浸水深さ範囲や自宅・職場などから最寄りの避難場所はどこか、どのようなルートで避難するか、などを確認の上、**わかりやすい所に保存または掲示してください。**

想定される浸水深さ範囲について

このマップの中で表示している「予想浸水深さ範囲」は、**水門等が閉まらなかった場合**を想定した津波浸水予測計算結果（大阪府、平成15年度実施）に基づいて作成したものです。

■地震の規模：マグニチュード8.4（M8.4）

■地震の震源：四国～和歌山県沖

■貝塚市沿岸の津波の水位：2.5m～3.2m（満潮時）

■貝塚市の震度：震度5強～6弱

※なお、今後実際に発生する地震の規模や震源によっては、浸水範囲が狭くなったり、逆にこのマップに示した浸水範囲以外の所も浸水することがありますので十分注意してください。